



大会(大海)に挑む

全日本小学生陸上競技交流大会県中地区予選

6月8日(土)、開成山陸上競技場で行われた全国小学生陸上競技予選会に5・6年生から選手を募り、11名が出場してきました。市内から29の小学校から参加していましたが、「井の中の蛙、大海を知らず」というのではなく、はじめてこのような大会に参加し、他の学校の選手たちと100メートルを競う経験はとても意味があります。実際に同じグラウンドで競い合っ、速さを実感できたことが明日へつながります。特に、大規模校ばかりがエントリーしていた女子400メートルリレーでは、15チーム中で10位と健闘しました。入賞する可能性のある子どもたちだからこそ、指導者もチャレンジさせたのです。何事も高い目標を持って「挑む」ことが大切です。レースまでのアップの仕方やコンディションを4人合わせて最高の状態に持っていくことなど、今後の市内陸上交歓会に向けての課題も見えてきました。今回の大会出場のおかげには、5・6年の担任の特設陸上への熱い思いがありました。出場した子どもたちばかりではなく、このようなチャレンジは他の児童にも様々なプラス効果をもたらすものと思います。



参加にあたって送迎、そして応援とご理解ご協力くださいました選手の保護者の皆様に感謝申し上げます。

P T A 奉仕作業

6月9日(日)、早朝6時よりPTA奉仕作業、お世話になりました。校庭・土手の除草や側溝の落ち葉拾い、そしてその後のプール清掃とトータルすると3時間以上のハードなお仕事にご協力くださり、ひたすら感謝です。おかげさまで土手の草や側溝の落ち葉もきれいになりました。プールの内側も高圧洗浄機で洗うとともに、大勢できれいにブラッシングして汚れのないきれいなプールになりました。ありがとうございました。



郷土を学ぶ体験学習

6月7日(金)、4年生は「郷土を学ぶ体験学習」に行ってきました。お隣の東芳小学校の4年生となかよく1台のバスに乗り、「郡山警察署」「ふれあい科学館」「河内クリーンセンター」を見学してきました。各施設の皆さんにご説明いただき、たくさん見て聞いて学ぶことができました。各施設の皆さん、熱心に教えてくださってありがとうございました。

